

平成 元 年度 第三セクター経営状況確認シート

～ を各団体で記入
を市所管課で記入

団体の基本情報	団体名	株式会社ところざわ未来電力				出資金	5,100 千円		設立年月日	平成30年5月28日		
						出資比率	51 %		所管課	環境政策課		
	団体の設立目的	再生可能エネルギーをはじめとした環境にやさしい電力の利用を推進し、市域から排出される温室効果ガス排出量を削減するとともに、自然に寄り添う持続可能な地域社会の実現に寄与することを目的としている。										
	組織の状況 (令和元年5月28日現在)	役員数 (うち常勤数)					職員数 (うち常勤数)					備考
		プロパー	市現職	市OB	その他	合計	プロパー	市現職	市OB	その他	合計	
		0	3	0	3	6	0	0	0	0	0	
市の関与 (財政的、人事的つながり など)	・資本金の出資510万円(出資比率51%) ・代表取締役が副市長、非常勤取締役に部長2名が就任											
事業の具体的な内容及び実施方法	高压の公共施設や民間施設への電力供給事業 ・公共施設 23施設 契約電力 約6,700kW ・民間施設 5施設 契約電力 約150kW											

(単位:円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
営業収益					162,245,954
営業利益					6,308,087
当期純利益					4,529,777
総資産額					79,904,787
純資産額					14,529,777
市補助金					0
市委託料					0

	項目名	単位	H26	H27	H28	H29	H30
活動実績	市有施設への契約電力	kW					6,700
	民間施設への契約電力	kW					150
改善内容	市域へ環境にやさしい電力の供給を開始した。						

事業概況	事業の経過及び成果	平成30年5月28日に株式会社ところざわ未来電力を設立し、7月31日に小売電気事業者に登録された。10月からフロートソーラー所沢の太陽光発電や東部クリーンセンターのごみ発電などから電力を調達し、所沢市市有施設(23施設)や民間施設(5施設)へ順次電力供給を開始した。
	対処すべき課題	旧一般電気事業者の巻き返し営業など競争環境は激化している中、当社は価格面だけでなく、環境にやさしい電力の性能をPRし、市内需要家を開拓するとともに、市内の再生可能エネルギー施設からの電力調達も推進していく必要がある。

所管課評価	
必要性の視点	再生可能エネルギーをはじめとした環境にやさしい電力の利用を推進することで再生可能エネルギーの更なる普及や電力使用に伴う温室効果ガス排出量の削減に寄与している。また、収益を地域課題の解決や再生可能エネルギーの普及に活用していくことで自然に寄り添う持続可能な地域社会の実現に寄与することから、株式会社ところざわ未来電力は引き続き必要である。
効率性の視点	市域のフロートソーラー所沢の太陽光発電や東部クリーンセンターのごみ発電などから電力を調達し、環境にやさしい電力を安定的に供給している。
自立性の視点	財務状況は、設立の初年度から当期純利益が黒字となり良好である。今後は、市内需要家を開拓し、収益を上げるとともに、市域の再生可能エネルギー施設から電力を調達し、地産率の向上に努める必要がある。